

環境教育「まず、今できることから」 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



2019/12/10

困っている人ほど助けを求めないこと
がある。
どうしていいかわから
ず、どこへ何を求めたら
いいかわからないからだ。
それでも空腹にはなる。
大正時代、米騒動にな
る。米価高騰が起きる
と、「公愛食堂」が開設さ
れた。各地で開設され
た。困窮者の救済のため
に自治体などが運営す
る食堂のことだ。
今の時代は「子ども食
も食堂」だ。
市内8ヶ所の保育園は、
いま、毎月おみや
ぎのしそやだ。
一人一人の顔を
見ることで調子
が分かる。
「どうのオレ、ジ
ヨシは終わり。
宣言したのは、先
ほじから書類
選考を通った
数十人の少年
に、飲み物は要ら
ないかと。カゴと
配っていた。中身男
どもを。



2019/12/09



2019/12/12

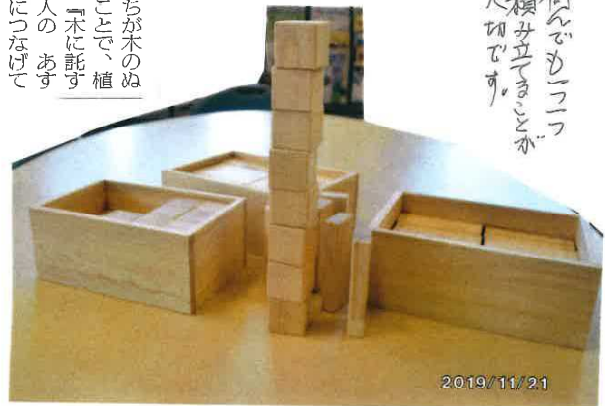


空席を責めしき正面
の席は空席のまま。た
だ、その男はジニー喜劇の
さだめた
写真撮影を拒み、公衆
を見せぬ。ジニーの美
顔をどの少年も知らな
か。この話である。
高度成長期から昭和ケ
ン期として平和な時
代の波動と、ひとりに英鳴
した。アイトルの意欲併
ある。
（左）尾張旭市西大道町

植樹祭の木材が 積み木に「変身」

尾張旭市の市民団体「地
域環境活性化協議会」が、
天皇皇后両陛下が出席した
5月の全国植樹祭で使った
木材を活用し、積み木をつ
くり、同市内の保育園にプ
レゼントしている。
この木材は、都市の木質
化を目指して活動する学生
グループ「MOKKO(も
っこ)」が、植樹祭の式典
会場となった森林公園に設
置したベンチの一部。終了
後、同協議会が譲り受けた
木材を積み木に加工した。
同市西大道町の市立中部
保育園では4日、贈呈式が
あった。代表の高橋賢一さ

んは「子どもたちが木のぬ
くもりに触れることで、植
樹祭のテーマの『木に託す
もり・まち・人のあす
未来』の実現につなげて
ほしい」と話した。
積み木は、クリスマスプ
レゼントとして市内公立保
育園全8園に寄贈される。



2019/11/21

「イーやあいのま」
何んでも「コッ
積み立てる」が
大切です。



2019/12/11